

介護技術

	EA4193	担当教員	単位数	履修方法	配当学年
			2単位	SR	1年以上
科目コード	EA4193	担当教員	後藤 美恵子		



※本科目は、2017年度より1年以上配当科目に変更になりました。

※この科目は2018年度まで開講します。スクーリング受講、レポート提出は2018年度まで可能です。

※履修登録は2017年11月20日まで可能です。

※スクーリングは2017・2018年度開講予定です。

■科目の内容

個人の尊厳を保持しながら主体的に生活できるように、介護実践の目的に基づいた生活支援を展開するための知識や実践理論の習得を通して専門技能を体得すると共に、介護理念、専門性を構築します。(1) 介護実践技術の基本目標、介護観についての理解、(2) 生活支援の展開における基本介護の意義、目的の理論的背景に基づいた介護技術の習得、(3) 生活機能アセスメント方法の理解、(4) 個々に応じたケアスキルの展開方法の理解について、学習します。

■到達目標

- 1) 身体各部の名称、運動・移動の原則、生活環境整備について説明できる。
- 2) 体位と姿勢、トランスファーの理論を踏まえ、実践できる。
- 3) 衣生活の理論を踏まえ、実践できる。
- 4) 排泄の理論を踏まえ、実践できる。
- 5) 食事の理論を踏まえ、実践できる。

■教科書（「高齢者福祉論」「介護概論」と共通）

社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座13 高齢者に対する支援と介護保険制度（第5版）』中央法規出版、2016年（第5版でなくても可）

※「高齢者福祉論」で配本のため、この科目での教科書配本はありません。

■履修登録条件

この科目は「高齢者福祉論」をすでに履修登録済みか、同時に履修登録をする方のみが履修登録できます。

■在宅学習10のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	第12章 介護過程 第1節 介護過程の概要	・介護保険制度におけるケアマネジメント過程と介護過程の関係について理解する。また、介護過程の概略について理解する。 キーワード：アセスメント（課題分析）、ニーズ、介護計画	・介護保険制度におけるケアマネジメント過程と介護過程の関係、および介護過程の概略について理解し、説明できるようにしましょう。
2	第2節 介護過程の展開技法	・介護過程におけるアセスメントの視点と対象について理解をする。さらに、展開の実際について事例を通して理解を深める。 キーワード：アセスメント、ICF、情報収集、サービスと生活	・介護過程におけるアセスメントの視点と対象について理解し、説明できるようにしましょう。さらに、展開の実際について事例を通して理解を深めましょう。
3	第13章 介護各論① 第1節 自立に向けた介護	・「自立」の概念の理解を深め、自立支援としての介護の展開について理解する。 キーワード：自立支援、阻害要因、依存	・「自立」の概念の理解を深め、自立支援としての介護の展開について理解し、説明できるようにしましょう。
4	第2節 家事における自立支援	・家事援助における自立支援について理解する。 キーワード：生活援助、家事、自立支援	・家事援助における自立支援について理解し、説明できるようにしましょう。
5	第3節 身支度・移動・睡眠の介護	・身支度・移動・睡眠の介護について理解する。 キーワード：身支度、移動、ボディメカニクス、睡眠の仕組み	・身支度・移動・睡眠の介護について理解し、説明できるようにしましょう。
6	第4節 食事・口腔衛生の介護	・食事・口腔衛生の介護について理解する。 キーワード：食支援、寝食分離、摂食・嚥下過程、口腔ケア	・食事・口腔衛生の介護について理解し、説明できるようにしましょう。
7	第5節 入浴・清潔・排泄の介護	・入浴、清潔、排泄の介護について理解する。 キーワード：入浴の意義、清潔法、排泄動作とアセスメント	・入浴、清潔、排泄の介護について理解し、説明できるようにしましょう。
8	第4章 介護各論② 第1節 認知症ケア	・認知症の中核症状と周辺症状（BPSD）、および原因疾患による症状と進行について理解する。また、認知症高齢者とその家族の支援について理解する。さらに、地域での連携体制について理解する。 キーワード：中核症状、周辺症状、アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症、個別化、受容、家族ケア、地域連携体制	・認知症の中核症状と周辺症状（BPSD）、および原因疾患による症状と進行について理解し、また、認知症高齢者とその家族の支援について理解し、説明できるようにしましょう。さらに、地域での連携体制について理解し、説明できるようにしましょう。

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
9	第2節 終末期ケア	<p>・終末期ケアの概念、および高齢者の終末期ケアの特徴について理解する。また終末期ケアの基本的な考え方について理解する。</p> <p>キーワード：終末期ケアの概念、終末期ケアの介入方法、グリーフケア</p>	<p>・終末期ケアの概念、および高齢者の終末期ケアの特徴、また終末期ケアの基本的な考え方について理解し、説明できるようにしましょう。</p>
10	第3節 住環境	<p>・高齢者に対する住環境整備について、家族との関係を踏まえ理解する。</p> <p>キーワード：居住環境、バリアフリー、住環境整備の視点</p>	<p>・高齢者に対する住環境整備について、家族との関係を踏まえ理解し、説明できるようにしましょう。</p>

■レポート課題

1 単位め	要介護者の生活支援を展開する上での基本的な生活支援技術をまとめなさい。その上で、要介護者がその人らしく生活することの意義を考え、それを可能にするために専門職としてあり方について具体的に論述しなさい。
2 単位め	認知症高齢者の状態像についてまとめ、中核症状を踏まえた上でBPSD（周辺症状）への対応方法を含め、専門職に求められる認知症介護のあり方について論述しなさい。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

■アドバイス

1 単位め アドバイス

専門職として、生活支援（介護）を展開する上での基本的な専門技術について、テキスト第13・14章を参考に理論的根拠を踏まえた上で介護技術の内容について簡潔にまとめてください。テキストでは、間接技術の一つであるコミュニケーションが網羅されておりませんので、他の文献を参考にしてください。専門職としての生活支援のあり方も介護保険導入と共に変化しています。介護保険の基本理念である「利用者本位」「自立支援」を具現化する上でその人らしい生活の意義について自身の考えを述べ、基本的な専門技術の個別展開のあり方についてまとめてください。

2 単位め アドバイス

高齢社会と共に認知症高齢者が増加し、認知症介護についてはゴールドプラン21に基づいて国レベルで取り組まれております。これまで「問題行動」と言われてきた周辺症状も近年では「BPSD」と新たな概念で呼ばれるようになりました。ここでは、新たな介護の専門性を押さえる意味で、テキスト第14章第1節を中心に「認知症高齢者とは」といった状態像をまとめ、認知症高齢者に対する適切な生活支援を展開する上での介護のあり方について、BPSDの対応方法を含めて自分の考えを具体的に述べてください。

■「卒業までに身につけてほしい力」との関連

とくに介護技術「基礎的知識」「レポート作成力」「創造的思考力」を身につけてほしい。

■参考図書

- 1) 介護福祉士養成講座編集委員会編『新・介護福祉士養成講座 6 生活支援技術Ⅰ (第3版)』中央法規出版、2014年
- 2) 介護福祉士養成講座編集委員会編『新・介護福祉士養成講座 7 生活支援技術Ⅱ (第3版)』中央法規出版、2014年
- 3) 介護福祉士養成講座編集委員会編『新・介護福祉士養成講座12 認知症の理解 (第3版)』中央法規出版、2016年

■スクーリング受講にあたっての留意事項

「介護技術」のスクーリングは、「高齢者福祉論」「介護概論」の2科目について、学習に取り組んでから受講することをお奨めいたします。

■履修上の注意

2015年度以降入学者は、この科目を高等学校教諭一種免許状（福祉）取得に必要な「教科に関する科目」として使用することはできません。